

令和2年度 第12回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和2年11月2日(月) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時30分

2 場 所 海上公民館 1階研修室

3 出席者

会 長	加瀬 正彦 (副市長)
副 会 長	伊藤 啓子
委 員	富山 理
委 員	伊藤 英希
委 員	向後 三郎
委 員	芳野 守
委 員	渡邊 錦一
委 員	小倉 和也
委 員	伊藤 義隆 (財政課長)
委 員	宮内 敏之 (行政改革推進課長)
委 員	加瀬 政吉 (学校教育課長)

《事務局》

庶 務 課 長	杉本 芳正
庶 務 課 副 課 長	飯島 和則
庶務課施設班班長	八馬 裕樹
庶務課施設班副主査	林 義樹
庶務課施設班副主査	小林 尚嘉
庶務課施設班主事	内田 功詠
学校教育課指導班班長	岩井 玲

4 開 会

・事務局

本日もお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、「第12回旭市学校再編計画策定委員会」を開会いたします。会議の前に加瀬副市長からご挨拶を申し上げます。

5 会長あいさつ

それでは、第12回ということでも再編計画策定委員会、本日は月はじめ、しかも日曜と祝日の間ということでも、みなさん大変お忙しかつたと思っておりますけれども、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。前回、委員の皆様から様々なご意見を頂きました。前回の素案のバージョン1を出して、その中で意見を踏まえて修正すべきところは修正してきました。それで素案バージョン2ということでも今回お配りしてございます。特に小学校の数なんですけれども、6校にするのか、7校にするのか、5校という案も出ました。ただ、その中で今ある学校施設、これはやはり有効に活用して行く必要があるだろうと、それから地域を踏まえてと言うところもございましたので、今とりあえずお出ししたのは、今回7校案になっていると思っております。ただ6校案ということも見据えて、さらには中学校と小学校の連携というところも見据えて、将来的はもう少し少なくして行くことができるような、そういう形で事務局のほうで書き込んだということでもございます。内部でも充分検討させていただきまして、今回バージョン2という素案にさせていただきましたので、できればロードマップ、それからこの先の計画の推進、そういったところを踏まえて、この素案が素案として、できれば認めていただく方向に行ったらいいなと、そのように思っています。当然意見がございましたら修正するのはやぶさかではございませんし、できれば今回は微修正をしながら素案として固めていきたいという思いでもございます。本日もまた様々なご意見が出ようかと思っております。忌憚のないご意見を頂きながら修正をかけていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6 議事

・事務局

それでは、これ以降の議事については、委員会要綱に沿って、副市長に進行をお願いしたいと思います。よろしくようお願いいたします。

・議長

それでは議題に沿って進めたいと思っております。議題（1）「第一中学校と第二中学校の比較（資料1）」の説明をお願いします。

・事務局

資料1「第一中学校と第二中学校の比較」により説明。

・議長

ただいま前回の質問を踏まえまして、〇〇中学校、〇〇中学校それから〇〇小学校の敷地等について説明がございました。何かご質問があればお願いいたします。

・委員

人数の収容とクラスの最大数を比較して、おそらく小学校の実最大数が27のところ、

〇〇中学校が類似して28、中学校を〇〇中学校のほうにすると、どちらにせよクラスの増設を考えるとということだと思んですけど、実際2040年で考えてみていただくと、〇〇小移転の時は、予想人数292名ですか、300人欠けるくらい的人数だと思んですけども、そこで考えますと最大数27の教室を備える必要は無いということで、〇〇中学校でも〇〇小学校の人数を全部収容した場合に、おそらく15も必要ない教室数で入れるんじゃないかと。中学校の生徒を〇〇中学校に移動した際に、最大数28も必要なくなる人数が2040年にやってくるのではないかと予想されるんですけど、その辺の見込みは考えて出しているのでしょうか。

・事務局

いま児童生徒数の推計のなかで、どういった考えを持たれているかというご質問かと思えます。例えば今事務局で考えています第2中学校をそのままに〇〇小に使いたいという考えた時に、〇〇小の推計が2040年でだいたい554名ということになって、だいたい16教室になります。そういったことを考えます〇〇中学校の教室が今使えるとして、現在28教室ありますので、そのまま使えるのかなというところを検討しておりました。ですので、〇〇中学校は中学校の再編がありますので、いつのタイミングでどう判断するかということがこの先決めていかなきゃいけないのかなというところがあるんですが、〇〇小を〇〇中にと考えた時には、教室は足りると考えています。ですので、〇〇中学校を〇〇小で使うとなるとまた違う問題とか、教室が足りないとか、そういったことは考えられますが、あくまでも事務局は〇〇中学校を〇〇小にと考えております。

・委員

そうすると、〇〇中学校を〇〇小で使いたいとなったら、〇〇中学校と〇〇中学校の合同を〇〇中学校で考えるという選択でいいんでしょうか。いまの資料を見させていただくと、〇〇小は〇〇中学校に行きましょう、その代わりに中学校の選定については、〇〇中学校と〇〇中学校の両方考えましょうという書類になっているので、そこがちょっと曖昧だなと思うんですが、〇〇小学校で〇〇中学校を使いますという前提を持っていくのであれば、〇〇中学校を増築するのであれば、〇〇中学校で中学校を賄う方向に話を持って行ったほうがよろしいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

・事務局

海上地域の小学校もそうなんですけど、候補地として挙げさせていただいたというところもありまして、それはどうしても1つに絞れない理由があったので、そう書かせていただいたんですが、あくまでも優先順位として第一優先は〇〇中学校という方向性を具体的に示させて頂く事が了解頂ければ、そういった書き方をしていきたいと思えます。

・議長

このところ、〇〇小はどうしても〇〇中学校だという前提で書いているんですけども、この部分は根本的に困るところは出てくるのかな。例えば〇〇中学校、〇〇中学校の選択もしくは〇〇小は校舎が老朽化するまでは現状のまま使うような、特にすぐに〇〇小は動かす必要はないけど、借地だから狭いんで動かす必要があるんですけども、ただあの建て替えの時までにある程度今のまま使っていくようなそういう記述をした上で、その時点で中学校の再編をにらみながら、生徒数を勘案してというのはどうでしょうか。

・事務局

40ページに南中学校としてその〇〇中学校、〇〇中学校ということで候補のほうを挙げさせていただいています。これはおそらく〇〇委員が言ったようないくつかの考え方というところの話なんでしょうけども、年度に区切ってそのロードマップから人数、そして校舎の老朽化というところを見極めると事務局の方でも判断しにくいというのが正直なところです。

・議長

中学校の方が〇〇中学校、〇〇中学校を候補地になっていて、〇〇小の移転が〇〇中学校に断定的に書かれているという記述の矛盾の話をしていると思うんで、そちらも含みを持たせる形にしてもいいのかどうかというところはお意見どうでしょうか。これは、記述をまとめるうえでのテクニク的な話になってしまう可能性もあるので。

・委員

記載の矛盾に対する意見じゃなくて申し訳ないんですけども、単純に〇〇中学校を〇〇中学校として使う場合、当然、校舎の数が足りないので増築等だと思うんですけども、グラウンドの方は足りるのかなという心配もありましたのでちょっと意見を述べさせていただきます。グラウンドについて先日の銚子連絡道路の事業がいつになるかは、ちょっと先が見えないと思うんですけども、その道路の線形の資料を見る機会がありまして、見るとちょうど〇〇中学校の南側を通るような形だと思うんですね。その場合、〇〇中学校の土地もしくは隣のグラウンドが用地買収で道路として使われてしまうのではないかと不安もありまして、グラウンドが面積として足りるのかという心配がありました。

・議長

はい、ありがとうございます。確かに先日、都市計画決定のためのルート図が示されて路線はこの辺を通るんですね。ただ、時期は明確ではありませんけども、そういう都市計画決定がなされる、という方向で今動いていることはあります。このところの事業でグラウンドの拡張性がもしかしたら足りない可能性があるという指摘だと思います。

・事務局

その辺で気をもんでいるところはあるんですけども、線形がまだはっきりしていなかったもので、記載の方は遠慮させていただきました。

・議長

この先素案に入っていくと、〇〇小の移転先は〇〇中学校という形になってしまっているんで、その段階でもう一度議論させてもらいましょうか。とりあえず今、こういう面積の状況であって、施設の規模、用地の面積そういったところがこのようになっているということだけ把握していただいて、最終的にその記述も少し内部で検討させてください。今の議論は、この先の学校の再編計画案についても関わる場所ですので、前回の会議に基づいて修正をかけたところ、それから校正を行いながら事務局で本日まとめてありますので、小学校の再編案、6校案と7校案があった中で、その選択について改めて事務局の考え方をまとめてありますので、ここを先に説明させていただきたいと思います。事務局お願いします。

・事務局

資料2「学校再編計画の修正箇所」、資料3「学校再編計画（素案 vre.2）により説明。

・議長

事務局から説明がありました。修正を加えたところ、それから考え方、それらの説明のなかで、しっかり議論していきたいと思います。先ほどの23、24ページの件はどうしようかな。〇〇小学校の位置を候補となる学校ということで、〇〇中学校だけにしちゃっているけども、中学校のほうが〇〇中学校と〇〇中学校と書いてあるので、こっちも2つ書くのかどうか。この表をもうひとつ載せるかどうかの議論になると思うんだけど、その辺はどうだろうか。

・事務局

〇〇小の移転先で〇〇中学校という考えなんですけども、〇〇小から〇〇中学校に行く児童が少ないのは、〇〇中学校の位置が偏っているためで、そこに小学生が歩いていくのは距離的に現実的ではないかなというところもありまして、〇〇小の候補地としては省かせていただきました。選択の余地として可能性があるというご意見があれば、候補として載せさせていただこうかなと思います。

・委員

実際、パブリックコメントを求めたときに、〇〇中学校と〇〇中学校が両方ありますよとなった時にどういう返答がくるのか。決定的な資料が無いですね。私は〇〇中学校が良いなと思っているのは、部活の種類が多いので、それだけの施設があるんじゃないかという断片的な希望なんですけども、その部分とグラウンドが離れているので、子どもにそこまで行きなさいというのが手放しにできないところがあるということです。それを考えると、どちらにせよ増設で教室賄わなければならないのであれば、中学校から小学校へ転用した場合の費用と、新築の時に実際小学校として構造物を考えると、その辺をもう少し考えていただければいいのかなと思うんですけども、どうでしょうか。

・議長

今のご意見を踏まえて私の考えを言ってしまうとすれば、例えば〇〇中学校を統合中という形でいったとしたら、〇〇小は現状のままの中で校舎を建て替えるというのが1つの議論があって、仮に〇〇中学校のところをもう少し活用するというのであれば、その先の〇〇・〇〇・〇〇を将来的に一緒にするみたいなそんな考えが出てくるのかなと。でも、そこまで含みを持たせて書くと結構意見がまとまらなくなる可能性があるんだよね。その辺、〇〇委員いかがですか。

・委員

今の会長の意見と同じで、〇〇小はそのまま、〇〇中学校は中学校で使う、〇〇中学校は〇〇・〇〇・〇〇の統合小学校という意見で、そのほうが既存施設の活用としても良いと思いますし、例えば〇〇・〇〇・〇〇が統合して、統合先について地域の方の意見が別れるよりも、間じゃないですけども、〇〇中学校はそれぞれの地域からも等しい場所ですし、もともと〇〇・〇〇の小学校は中学校に上がればその場所に行きますので、小学校の時から将来行くであろう中学校に通うというのは、保護者から見ると、まあそれが良いのかなという気が私はします。

・委員

実際、〇〇の小学校は2クラス持てないクラス数なので、またそっちも増設だというのであれば、小学校の転用を考えてもいいですね。ただ、〇〇小学校の借地で考えると、借地のところに新しい建物が建っていたり、体育館が建っていたりするので、その借地をなくすように考えると、根本的に新しいものを無くすような感じで、南校舎とかは市の土地だと思ったりするので。

・委員

借地というのが行政として非常に懸案事項なのかなって言うことだと思うんですけど、個人的には微々たる金額なのかなと、金額だけの話をしてしまうと、微々たる金額なのかな。校舎を改築するなり増築するなりにしても、地権者の意向もありますけど、将来確実に増える費用、懸念される財政状況を考えて、どうなのかなって言うふうに思います。

・議長

ただいま出された意見について、さらにという事でご意見をいただきたいと思っておりますけれどもいかがでしょうか。記述を直すとしたらという前提で私が話をすれば、〇〇・〇〇は今出ている案にしておいて、〇〇・〇〇のところで、〇〇小学校って書いてあるんだけど、〇〇小学校もしくは〇〇中学校という2段の候補地として、〇〇小はそのまま、〇〇中学校は中学校として使うことであった時は、そんなに記述の変更が無くていくかなと。将来的に北側で統合の小学校と中学校の連携した学校を創っていくとなった時には、〇〇小もそちらのほうに入っていくので、その時点で〇〇小は〇〇中学校のところに入っていくようなイメージも作れるのかなということ、案を出してしまいました。最初から〇〇も含めて、〇〇中学校にということではなくて、〇〇もしくは〇〇中学校の活用という形で書くのであれば修正は大きくななくてもいけるのかなと思った次第です。それでは、段階を踏んで話を進めて行きたいと思っております。まず小学校7校案、それから中学校3校案にして記述が基本できています。この記述については全体にしては特に異論はないということですのでよろしいでしょうか。皆さん聞いていらっしゃるんで、それについて異論は無いと。それでは、7校にした時の記述のしかたで候補地の学校をどこにするかというところで1点、特にあの〇〇小学校の取り扱いでそのような意見が出ているということなので、そのところは、場合によっては今回の記述から一部修正を加えて素案にしていくということですのでよろしいかどうかお伺いしたいと思います。

・委員

今、〇〇小と〇〇小学校を統合して、例えば〇〇中学校を使うという場合、〇〇小学校は使わなくなった場合はどのような使い道を考えているのでしょうか。〇〇小学校まだ建築してそんなに古くないと思っておりますので、その〇〇小学校を使わない場合は、新しいのにもったいないなという感じもします。

・議長

統合した後の学校施設については民間譲渡とか、その他の用途・目的、それに沿って、そのような方向で行くのかなと。ただ、今言ったのは、〇〇小学校と〇〇中学校、この2つの候補地ということで記述をしていくと言うことであれば、〇〇小学校を直ちに廃止するという事ではないので、仮にその方向でどうしても〇〇小学校で一旦いきますよ

ということであれば、それは〇〇中学校を廃止するということも考えられるっていうそういうことだと思いますので、必ずしもここに書いたとおり全てその方向で処理していくことではなくて、空いたところは、必ず民間譲渡等で有効に活用していくという方法をとっていくことになるのかなと。

・委員

現状では出された事務局案が一番現実的かなと考えています。ひとつひとつ潰していくと、どれも色んな面でハードルがあつたりだとか、難しいところがあるので、どこかできつと着地点を見つけなきゃいけないのかなという感じはしますが、今のところ、これが一番は近いかなという感じではおります。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

小学校がもし7校でいった場合、〇〇・〇〇だったら〇〇小、〇〇・〇〇だったら〇〇小、〇〇・〇〇だったら〇〇小でいいんですね。〇〇地域の3校の場合は〇〇小に、〇〇地域の場合は〇〇小か違う所にもってくるか、〇〇地域の場合は〇〇中にもってくる話ですよね。〇〇中は〇〇中と一緒にするという話ですよね。わかりました。

・委員

ベターなところでいけば、これがそうなるのかなと思います。色んなところを見つめていくと難しいところが必ず出てきますので、それをまずはひとつのベターの案として、それがこれだとすれば私はこれでいいかなと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

この原案でいいと思います。細かいところで〇〇小はどうするのかというのは、色々と意見があると思いますので、事務局のほうで考えていただければと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

大筋で統廃合について一本化できているので、皆の意見がひとつになってますので、あとは矛盾が生じないように、選定理由と課題のところでは何とか辻褃を合わせていただいて、その先また検討していかなければならないところがあると思いますけども、第一段階はそれでいいと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇中学校、〇〇中学校の関係は当然ありますけども、前回の協議の中で、ほぼ方向でいって、〇〇中学校、〇〇中学校の取り扱い、それから小学校の記述とそれから南中学校の記述で、〇〇中学校、〇〇中学校どちらかみたいなそういう形になっているところだけの齟齬があるのかなということなので、そこのところは事務局と内部でどういう記述をしたら良いのかを、若干の変更が出るのであれば、それは考えて協議したいと思いますので、〇〇委員の意見ももっともだと思うんですけど、そこのとこ

ろは、できればパブリックコメントにしっかり出していただいといるのもあるかもしれ
ませんので、その一部修正を加えた形で素案としてもって行きたいということで、よろし
いでしょうか。皆さん領いてらっしゃるんで、あの一旦これで、さっきの〇〇中学校、〇
〇中学校のところをもう少し逃げられるような形でも取れば、そのところは記述して
素案にしていくという事にしたいと思ひます。それでこの委員会の素案ということにさせ
ていただきたいと思ひます。それでは今回の修正をかけた部分でさらに何かご意見があれ
ばお伺ひしたいと思ひますけども。

・委員

表記のことで何点か修正をお願いします。あと、3ページの「旭市が保有する施設の約
50%を学校施設が占めている」とありますが、これが多いというふうにかかれてい
ると思ひますけど、他市町村との比較がわからないので、教えてください。

・事務局

後日回答します。修正点は、もう一度確認します。

・委員

旧海上中学校跡地の利用、そのこともあるんですけども、新しい市役所が建つと支所
と公民館はいらなくなると思ひますが、この土地はどうでしょうか。それも考えてもい
いのかと思ひました。

・議長

公民館と庁舎の関係を〇〇委員、お願いします。

・委員

海上公民館と隣の海上支所ですけども、これまだ耐用年数はもう15年くらいあります。
この公民館も同じく同時期に造りましたので14年くらいあります。ですからまだもう少し
活用させていただく予定であります。海上公民館については長寿命化等をする前に施設
とし不備な部分がありますので、もし海上公民館が将来的には建て直して、現在のバリア
フリーだとかいろんな面に対応できるような構造にしなければいけないというような状
況がありますので、将来的には学校というよりは生涯学習施設としての利活用を土地的に
は考えていくべきではないのかというふうにかしては考えております。海上支所は
新庁舎ができた後も多目的な利用ということで、他の公共施設として活用するような要望
とか出てますので、そういった面で少し活用させていただこうかなと考えているところ
でございます。

・委員

使われている文言なんですけども、3ページの青く囲っている中で、教育の均等性とい
う言葉があるんですけども、これ何か使われているものがあるのでしょうか。色々調べ
たんですけども、教育の機会均等という言葉は教育基本法とかに使われているんですが、
均等性ということとはあまり無かったので、これが使われていて、ちゃんとした意味がある
かどうか確認いただければと思ひます。2点目なんですけども、14ページに部活動の記
載があります。2段落目の記載ですと、部活動が無ければ無いで良いじゃないかとい
うことになりかねないと思ひる人もいるかなと思ひたので、それについては、部活動は課外活
動なんですけども、関連を図ってやるようになってことで平成20年度、また今回29年に

出た学習指導要領にも部活動は、教育課程外なんだけれども、人間関係作りとか、責任感と連帯感とか、こういうことに資するものなのでということで、教育課程と関連付けて実施しましょうということが学習指導要領にも書かれているので、部活動のメリットである責任感とか協調性とかそういうことを育てることができるので、大切なものだというような表現を入れていただけるといいかなと思います。17ページに学区についての記載があるんですけども、学校を選択できるように検討しますって書いてあるんですけど、これについては、本当にこう自由選択するのか、隣接区域だけの選択にするのか、いろいろ選択のやり方があって、それに伴ってメリットもあるしデメリットも出てくると思うんです。これを書いたらどのような選択をさせていくのかという前提を考えていただかないと、色々な課題が出てくるのかなと思います。例えば、学校が本当に自由選択制になった時に、学校の特色を出して生徒を集めるっていうのもひとつあって、学校を活性化する一方で、学校の序列化ができたりとか、入学者の希望が偏ったりとか、また問題が生じる可能性もあるので、ここはちょっと慎重になったほうが良いのかなと思いました。最後なんですけど、49ページの将来的に小中一貫校・連携校を考えるっていうことが表現であるんですけど、小中一貫校という言葉があるんですけど、連携校という言葉を使っているのがあまり見られないので、使ってるわけでいいんですけども、小中一貫校を考える、また連携を進めるっていう言葉の使い方あるんですけど、連携校という言葉が適切なのかどうかっていうのを確認いただければと思います。

・議長

ありがとうございます。3ページ目の件、〇〇委員は何かご意見ありますか。

・委員

〇〇委員の言ったとおりかなと思います。

・議長

この部分は、質と量の最適化ということで、この言葉の使い方が適切になるようにちょっとよく調べてください。あとその他の部分も調べてもらって、記述を一部直すべきところがあれば、適切に表示できるようにお願いします。

・委員

3ページなんですけども、鉄筋コンクリート造の建物耐用年数を40年と書いてあるんですけども、この40年というのはどこからきた数字なんでしょうか。法定耐用年数ですと、用途で違いますけど事務所は50年、住宅47年となっているんですけども。

・事務局

すみません40年というのは誤りで、47年です。失礼しました。

・議長

その他気がついたところがあれば、事務局の方にご連絡を頂いて、その時点で修正をかけていることもやぶさかではございませんので、お願いしたいなと思います。それでは、今回のご指摘をいただいたところをどういう形で修正するかを事務局でよく考えて、修正したら各委員さんに可能であれば送付して、直した箇所を赤字等でわかるように一旦出して、それをもって素案にしていくという方法を取りたいと思いますけども、それでよろしいでしょうか。それでは、そのようにさせていただきます。今日、いただいたご意見を修正か

けたものを最終的に素案として、今日の会議をもって、この後は個別の送付ということでお願いしたいと思っておりますけれども、よろしいですか。皆さんが頷いていらっしゃるんで、これでいきたいと思っております。そして今後のスケジュール案について、事務局から改めてもう一度説明していただけますか。

・事務局

本日お配りしました参考という資料をご覧ください。参考資料としまして、計画策定に向けた今後のスケジュール案ということで記載させていただきました。①から⑦ということで、3月までの予定を記載しております。まず1番、本日、素案の決定ということで大まかなご了解を頂きましたので、いただきましたご意見を反映させて最終的な素案をお配りしたいと思います。それと同じものを12月の議会の方に説明をさせていただきながら、1月中旬から2月上旬のパブリックコメントの募集という形になります。こちらは、今〇〇で進めてます、旭市公共施設総合管理計画というものが、上位計画になりますが、それと同時期ということで、施設の統廃合が同じようなカテゴリーとしてありますので、同じタイミングでやらせていただこうかと考えております。その後、集計をいたしまして第13回目の委員会を2月下旬に遅くてもやらせて頂きたいなというところになっております。そちらで修正をしていただいて、必要に応じて14回を開催して、最終的に3月の市長への報告という形を予定しております。

・議長

いま事務局から説明があったとおりのスケジュールでできれば進みたいとのことですので、皆さんにご了承いただければと思います。

・委員

実際、単学級でなおかつ10人を切ってしまう年代の2025年には66名になりますと複式学級が出てもおかしくない雰囲気が出てくるんですけども、それを中期・長期の計画をもっていくとなると、そこまでに複式学級にならないで済むのかどうか、その辺が微妙なところで、そこまで待てるのかどうかという感じなので、〇〇小が2025年に66名、〇〇小も〇〇小学校も2030年まで待てる学校と、待てない学校が出てくると思いますので、そうなった場合に早期閉鎖じゃないですけども、そこからスクールバスで違う学校に運ぶとか、臨機応変に考えてもいいのかどうか、3つの学校が集まってひとつ建てて統合しましょうというスケジュールも大事なんですけども、この学校は複式になりましたといった時に、あと20年待ってね、というのが理にかなうというか、今回のやるべきこと、建物の面積を減らすだとか、複式学級の無い教育をつくるといった、もともとに触れてしまう気がするので、早期スケジュールで、合併も可能であるというのを少し考えてみてもいいんじゃないでしょうか。

・議長

ありがとうございます。この件については、例えば小学校であれば22ページに開校の時期ということで統合小学校別にそれぞれ記述してあって、早いところであれば2030年程度、一番遅いところでも2040年までにはという形でいけば、今回の前提としては複式学級がこの間であれば無いという前提で、この計画の素案を作ってきているということではないんですね。そういうことでありますので、少なくともこの年次までに例えば先

ほどの〇〇小だとか、〇〇であるとか、そういったところもこの時期であれば複式学級にならないということであると思いますので、できるだけ急いでやるべきところはやるようにという記述がどこかにできるかどうかは別として、そのへんはご意見としてしっかりと承っておきたいと思います。ありがとうございます。

・委員

パブリックコメントをやるという説明がありましたけど、このままパブリックコメントの段階にもっていったいいのかなと。パブリックコメントの要綱からいくと、策定委員会でパブリックコメントを出すことが、心配な部分がありますけど、これはどうなんでしょう。当然、パブリックコメントでやるとなると、質問が出た場合の正式な回答をしなければいけないということになってきますので、その場合、計画者は市として計画をパブリックコメントに載せる形になってくるんじゃないのかなと。そうした場合に、策定委員会でまだ素案という段階で市が素案として出すのであればパブリックコメントでもいいのかなというのがあるんですけど、段階的に今までの例でいくと、これを出しちゃっていいのかなと。例えば市の内部で出した中で、市として素案を出すっていうことであればいいのかなという気がするんですけども、その辺をもう少し事務局で検討していただきたい思います。

・議長

パブリックコメントをかける時期が策定委員会でかけるのか、市でかけるのか、本来市でかけるというのがあるので、そここのところについては、あの内部の部局で協議をさせていただいて、素案ができたので一旦市長に報告して、それでかけていただくという形をとれば問題ないと思いますので、そここのところは、この修正をかけて、素案になった段階で市長に説明をして、それで市長決裁を取っておくということが必要かもしれませんので、その手続きは事務局でしっかり取っていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは次回の開催予定というお話もありましたけども、2月下旬という話でありましたので、まだ相当先で、日程を取るのは難しいかと思いますので、そこらへんにもう1回あるんだなということで、予定をしていただければと思います。その他なければ、今日の第12回旭市学校再編計画策定委員会は、以上をもちまして閉めさせていただきます。本当にありがとうございました。